

菅谷地区  
及び室見台  
(出石地域)



観音寺ため池  
10万立方メートル

菅谷地区の農業用水を確保

菅谷地区及び室見台は豊岡市の南部に位置し、出石の中心地から八鹿方面へ浅間トンネルまでの地区です。地区内には、水田が一望できる鶴山があり、百年前には山の中ほどに茶店があり、コウノトリの見学のためたくさんの方が来られました。私の祖母から子どものころお菓子をもらったためよく遊びに行っていたと聞かされました。自然と生き物が共生した素晴らしい環境です。

さて、農地利用最適化推進委員となり早くも一年が経過しました。昨年八月二日に弘道、室埴地域の農地パトロールを行い、遊休農地の確認を行いました。町中では農業従事者が少ない、水路の管理が難しい、地主がわからない等、山間地では農地が狭い、獣害がひどい等いろいろな問題があります。

地域の現状を見ると、山間地には、ため池が四個所あり、中でも但馬で一番大きな貯水量十萬立方メートルの観音寺ため池があります。草刈、泥上げ、水量調節等を行い、菅谷地区の農業用水を確保



室見台 64ヘクタール

しています。またハザードマップを作成して、水害にも備えています。

室見台は農地面積六十四ヘクタール、一区画百二十アールの大規模ほ場です。用水、排水は農道の下にあり水路が見えないほ場です。農地内に民家、工場が無くすべてがフェンスで囲まれており獣害にも安心です。農地の集約化により耕作希望面積が多く、遊休農地はありません。

しかし、山間地になると農業従事者の高齢化、新規就農者の減少により遊休農地が増えています。

地区内には耕作放棄の茶畑があり、簡単に他の作物を作ることができないため、お茶栽培、収穫を希望される方の相談に応じたいと思います。

近年では定年された六十代をはじめ、会社勤めながら農業を一生懸命頑張られ、規模拡大されている方も多く見受けられます。

儲かる農業、環境にやさしい魅力のある農業になるよう、地域の皆様のお力になればと思います。

ご協力よろしくお願いたします。

(推進委員 杉本武己)

豊岡北地区  
(奈佐・五荘・田鶴野地域)



新体制になって一年、同じ農協支店管内でもあり、同農地パトロール班としての農地利用最適化推進活動の現況、課題と今後の活動について紹介いたします。

当地区は、中山間地域・平坦地域・都市化された地域の大きく三つに区分されます。

平坦地域における担い手等への農地利用の集積・集約化については、こしばらくは問題はないと思います。

しかし、中山間地域および都市化地域では遊休農地の発生防止・解消が問題となっています。以前あった米の生産調整によって、水稲細目書からはずれた谷間の水田や利便性の悪い不整形田、都市化による転用等により細分化された農地、及び未整備水田が鳥獣害・高齢化、後継者不在等々によって年々遊休農地化しており、大きな課題となっています。

現状は、土地の所有者は、荒廃・山地化防止のため年一回の耕運又は除草を行っているところです。このままでは、山地化していくのが目に見えております。

解消には個人の力では何もできないと思われれます。各集落内力で合わせていかなければなりません。

そこで

① 棚田 (谷田の水田) による牛の遊



遊休農地の状況  
(農地パトロールにて)

- 牧地利用
- ② 水源確保のために各集落の耕地面積の二〜三%のビオトープ(湿地)化
  - ③ 鳥獣害防止の大型檻作り
  - ④ 地力維持作物(レンゲ・牧草等)の栽培
  - ⑤ 柿渋用の柿栽培
- などの提案を当該地域の委員と一緒に考えていますが、排水と鳥獣害防止が大きな課題になります。
- 村田推進委員長の「農家と関わることによって意見を何でも聞こう」をモットーに「何かありましたか」「何をどうすれば」と意見を交換し合いながら、我々が人生生涯現役を目指すように農地も生涯現役で維持できるように農家の皆様と互いに知恵を出し合って、努力していきたいと思っております。
- (推進委員 原田 益男)

**あなたの地域、地区の農業委員と農地利用最適化推進委員です。**  
**下の活動内容に関すること等、農地・農業のことをお気軽にご相談ください。**

地域名	地区名	農業委員		地域名	地区名	農地利用最適化推進委員	
		氏名	氏名			氏名	氏名
豊岡地域	八条・豊岡地区全域	西沢 泰裕	宮村 吉一	日高地域	国府地区全域	上坂 光広	植村 政明
	中筋地区全域		池畑 一己		八代地区全域		平野 薫
	三江地区全域	齋藤 善久	松島 一夫		日高地区全域	宮岡 正則	安岡 平夫
	田鶴野地区全域	村田 憲夫	阪井 裕		三方地区全域	宮口 豊隆	水嶋 明彦
	五荘地区全域	蜂須賀久人	原田 益男		清滝地区全域	田中 直喜	西口 覚
	奈佐地区全域		石原 章二		西気地区全域	原 清美	井上 孝
	新田地区全域	北垣 裕次	岡本 光夫		弘道・福住・寺坂地区	井谷 勝彦	仲川 弘之
	神美地区全域		栗原 安信		菅谷地区及び室見台		杉本 武己
港地区全域	高尾 利美	絹本 實	小坂地区全域	水嶋 義彦 (田多地・安良を除く)	川口 義昭		
城崎地域	城崎地域全域	石橋 重利	岩本 照雄	出石地域	小野地区全域	大原 博幸 (田多地・安良を含む)	中務 喜紹
竹野地域	竹野南地区全域	尾口 正信	福丸 義章 (中竹野を含む)	但東地域	資母地区全域	永井 辰正	松本 雅浩
	中竹野・竹野地区全域	加悦富美恵	天野 辰男 (中竹野を除く)		高橋地区全域		桑田 均
						合橋地区全域	森井 脩

**平成29年度  
 農業委員・推進委員の地域での活動内容**

区 分	
農地利用の最適化推進活動	① 農地の売買・貸借（農地利用最適化関連）
	② 農地の出し手・受け手（掘り起こし・情報の収集・現地踏査等）
	③ 農業者の経営意向の把握
	④ 人・農地プラン（策定・見直し）
	⑤ 農地パトロール・遊休農地対策
	⑥ 農地中間管理機構との連絡調整
	⑦ 新規就農（就農相談、フォローアップ）
一般活動	① 農地関連相談（紛争、小作料、相続など、農地利用最適化関連以外）
	② 農政関連情報の収集・提供
	③ 農業経営法人化（相談・指導）
	④ 集落営農の組織化（相談・指導）
	⑤ 農業税制（説明・照会等）
	⑥ 農業者年金（受給相談・加入推進等）
	⑦ 経営相談
	⑧ 農地転用現地確認

このような相談を受けました。

**農地利用最適化推進委員の交代について**

三江地区全域の農地利用最適化推進委員が佐竹澄雄委員から松島一夫委員へ交代になりました。



松島委員

